



2018年8月2日

博報堂生活者アカデミー、経営者と管理職の変革意識を読む

「ビジネスリーダー調査 2018」を発表

理想の職場環境を表すことわざ・慣用句 第1位『切磋琢磨』

今後も重要になるキーワード 第1位『生産性』、第2位『発想』、第3位『イノベーション』

株式会社博報堂(本社：東京都港区、代表取締役社長：水島正幸)の創造性の向上に特化した社会人教育機関「博報堂生活者アカデミー(主宰：嶋本達嗣)」は、企業幹部1,300名(経営者と管理職層)を対象として、これからの時代をつくるビジネスリーダーたちが抱く変革への意思を浮き彫りにすべく、「ビジネスリーダー調査 2018」を実施しました。

第四次産業革命、Society5.0、オープンイノベーション…あふれる社会課題と急速なテクノロジー進化により、多くの企業が“生業の再定義”を求められています。こうした時代の転換点に、企業や団体のリーダーたちはどのような問題意識を持ち、どの方向へ舵を取ろうとしているのか？本調査では、企業や団体の経営者と管理職層1,300人を対象に、時代潮流への意識、職場観、仕事観、能力観について、約170項目にわたる設問を投げかけ、ビジネスリーダーたちの現状認識と将来展望を問いました。調査結果から見えてきた、発見点を以下にご紹介いたします。

<調査結果のポイント>

【職場環境に対する意識】 経営者と管理職ともに、理想とする職場は、『切磋琢磨』する環境が第1位

【現状】の職場環境にあてはまる、ことわざ・慣用句

【経営者】1位「好きこそものの上手なれ」(62.3%)と「ローマは一日にして成らず」(62.3%)

【管理職】1位「和を以て貴しとなす」(53.0%)、2位「石橋を叩いて渡る」(52.7%)

- ◆経営者は現在の自社を、好きを仕事にでき、じっくりと時間をかけることができる職場環境であると捉え、管理職は現在の自社を、和を大事にするものの保守的な職場環境だと捉えています

【理想】の職場環境にあてはまる、ことわざ・慣用句

【経営者】1位「切磋琢磨」(89.3%)、2位「ローマは一日にして成らず」(89.0%)

【管理職】1位「切磋琢磨」(86.9%)、2位「ローマは一日にして成らず」(85.8%)

- ◆経営者と管理職ともに、中長期的な目線を持ちながら、同僚同士互いを高め合う職場環境を理想としています

【今後重要になる仕事や働き方にまつわるキーワード】 1位『生産性』、2位『発想』、3位『イノベーション』

自分の会社・団体にとって今後(も)重要になる用語

【経営者】1位「生産性」(89.0%)、2位「発想」(88.7%)、3位「イノベーション」(85.0%)

【管理職】1位「生産性」(85.0%)、2位「発想」(84.5%)、3位「イノベーション」(82.8%)

- ◆経営者と管理職ともに、自分の会社・団体にとって今後(も)重要になる用語の第1位「生産性」、第2位「発想」、第3位「イノベーション」という結果になりました

【本件に関するお問い合わせ】

博報堂 広報室 玉・江渡 TEL:03-6441-6161

【現状】の職場環境にあてはまる、ことわざ・慣用句」ランキング

Q. 以下にあげる、ことわざや慣用句が意味する事柄は、あなたの会社・団体の職場環境として、現状、「あてはまる」と思いますか。それとも「あてはまらない」と思いますか。

※「あてはまる」と回答した割合

経営者		(%)
1	好きこそものの上手なれ	62.3
1	ローマは一日にして成らず	62.3
3	和を以て貴しとなす	62.0
4	切磋琢磨	59.7
5	石橋を叩いて渡る	54.3
6	七転び八起き	53.3
7	案ずるより産むが易し	52.3
8	急がば回れ	50.0
9	小さく生んで大きく育てる	49.7
10	出すぎた杭は打たれない	49.0

11	雨垂れ石を穿つ	48.3
12	鶏口となるも牛後となるなかれ	47.7
13	粒ぞろいより、粒ちがい	41.7
14	当たって砕けろ	34.7
15	雄弁は銀、沈黙は金	32.7

全項目の平均回答率 50.7

n=300

管理職		(%)
1	和を以て貴しとなす	53.0
2	石橋を叩いて渡る	52.7
3	ローマは一日にして成らず	50.7
4	切磋琢磨	47.7
5	好きこそものの上手なれ	47.3
6	案ずるより産むが易し	44.0
7	七転び八起き	40.9
8	急がば回れ	40.1
9	小さく生んで大きく育てる	39.3
10	雨垂れ石を穿つ	37.4

11	出すぎた杭は打たれない	36.2
12	当たって砕けろ	35.7
13	鶏口となるも牛後となるなかれ	35.4
14	粒ぞろいより、粒ちがい	34.2
15	雄弁は銀、沈黙は金	28.3

全項目の平均回答率 41.5

n=1000

- ◆経営者は現在の自社を、好きを仕事にでき、じっくりと時間をかけることができる職場環境であると捉え、管理職は現在の自社を、和を大事にするものの保守的な職場環境だと捉えています。

【理想】の職場環境にあてはまる、ことわざ・慣用句」ランキング

Q. 以下にあげる、ことわざや慣用句が意味する事柄は、あなたの会社・団体の職場環境として、あなたの理想としては、「今後(も)そうなってほしい」と思いますか。それとも、「そうなってほしくない」と思いますか。
※「今後(も)そうなってほしい」割合

経営者		(%)
1	切磋琢磨	89.3
2	ローマは一日にして成らず	89.0
3	好きこそものの上手なれ	88.7
4	小さく生んで大きく育てる	85.7
4	七転び八起き	85.7
6	案ずるより産むが易し	85.0
7	雨垂れ石を穿つ	83.0
8	急がば回れ	82.0
9	粒ぞろいより、粒ちがい	80.0
10	鶏口となるも牛後となるなかれ	76.0

11	和を以て貴しとなす	74.3
12	当たって砕けろ	71.3
12	出すぎた杭は打たれない	71.3
14	石橋を叩いて渡る	60.0
15	雄弁は銀、沈黙は金	47.7

全項目の平均回答率 77.9

n=300

管理職		(%)
1	切磋琢磨	86.9
2	ローマは一日にして成らず	85.8
3	七転び八起き	84.4
4	好きこそものの上手なれ	83.1
5	小さく生んで大きく育てる	82.4
5	案ずるより産むが易し	82.4
7	雨垂れ石を穿つ	80.6
8	粒ぞろいより、粒ちがい	79.2
9	急がば回れ	79.1
10	和を以て貴しとなす	73.4

11	当たって砕けろ	71.3
12	鶏口となるも牛後となるなかれ	70.9
13	出すぎた杭は打たれない	70.0
14	石橋を叩いて渡る	61.0
15	雄弁は銀、沈黙は金	52.4

全項目の平均回答率 76.2

n=1000

◆理想の職場環境にあてはまる、ことわざ・慣用句は、経営者と管理職ともに、第1位「切磋琢磨」、第2位「ローマは一日にして成らず」という結果に。経営者と管理職ともに、中長期的な目線を持ちながら、同僚同士互いを高め合う環境を望んでいるようです。

「自分の会社・団体にとって、今後(も)重要になる用語」ランキング

Q. 以下 23 項目のそれぞれの言葉について、自分の会社・団体にとって、
 どちらかと言えば、「今後、あるいは今後も重要になる」、「今後、あるいは今後も重要にならない」のどちらだと思いますか。
 ※「今後、あるいは今後も重要になる」割合

経営者		(%)
1	生産性	89.0
2	発想	88.7
3	イノベーション	85.0
4	ワークライフバランス	81.3
5	PDCA	81.0
6	働き方改革	80.0
7	クリエイティビティ	79.3
8	成果主義	78.0
9	AI(人工知能)	77.0
10	企業文化	76.3

管理職		(%)
1	生産性	85.0
2	発想	84.5
3	イノベーション	82.8
4	PDCA	81.4
4	ワークライフバランス	81.4
6	働き方改革	79.8
7	クリエイティビティ	78.7
8	AI(人工知能)	77.6
9	成果主義	76.1
10	KPI	72.9

11	異業種交流	74.3
12	KPI	71.7
12	アクティブラーニング	71.7
14	リベラルアーツ	70.7
15	職場での雑談	65.0
16	人生100年時代	62.7
17	デザインシンキング	60.3
18	セレンディピティ	55.7
19	飲みニケーション	52.3
20	職場での運動会などのイベント	40.0
20	MBA	40.0
22	副業	26.7
23	年功序列	24.3

11	異業種交流	72.3
12	アクティブラーニング	71.9
13	企業文化	69.8
14	リベラルアーツ	67.0
15	職場での雑談	60.2
16	人生100年時代	59.9
17	セレンディピティ	59.1
18	デザインシンキング	58.4
19	飲みニケーション	46.2
20	MBA	43.4
21	副業	34.2
22	職場での運動会などのイベント	32.8
23	年功序列	29.4

全項目の平均回答率 66.6

全項目の平均回答率 65.4

n=300

n=1000

◆経営者と管理職ともに、自分の会社・団体にとって今後(も)重要になる用語の第 1 位「生産性」、第 2 位「発想」、第 3 位「イノベーション」という結果に。一方、旧きビジネス慣習や「デザインシンキング」、「MBA」といった専門的なビジネススキルに関する用語は下位になりました。

参考データ

● 仕事や働き方に関する生活意識

Q. 以下にあげる「仕事や働くことに対する意識」について、あなたご自身はどう思われますか。

	現状の生活意識 (そう思う+ややそう思う)		
	全体	経営者	管理職
自分の会社が好きだ	67.7	84.3	62.7
いま、働きがいを感している	59.5	71.3	56.0
仕事と私生活は、明確に分けられないと思う	57.5	60.3	56.6
近い将来、今の自分の仕事はAI(人工知能)や機械に取って代わられると思う	38.8	36.7	39.5
仕事とは、お金を稼ぐための手段である	83.3	79.7	84.4
仕事とは、自己実現のための手段である	67.5	72.3	66.1
仕事とは、誰かの役に立つためにするものである	79.2	80.3	78.8
	n=1300	n=300	n=1000

● 仕事に対する向き合い方・行動などの意識

Q. 以下にあげる行動や価値観は、現状のあなたご自身に、「あてはまる」と思いますか。

また、あなたの理想としては、今後（も）自分自身が「そうなりたい」と思いますか。

	現状の自分 (あてはまる)			理想の自分 (今後(も)そうなりたい)		
	全体	経営者	管理職	全体	経営者	管理職
「働き方」よりも「働きがい」を大切にしている	59.6	69.7	56.6	77.7	82.7	76.2
試行錯誤が出来る時間と気持ちの余裕がある	49.0	65.0	44.2	80.8	86.3	79.2
未来の生活・社会について考えることがある	60.1	70.3	57.0	79.5	83.7	78.3
組織の都合よりも個人の思いを大切に仕事をしている	36.2	39.0	35.4	58.9	54.7	60.2
社外で自分の業界と異なるネットワークを作っている	42.7	56.0	38.7	72.4	78.3	70.6
	n=1300	n=300	n=1000	n=1300	n=300	n=1000

■ 調査概要

- ・調査対象者： 従業員数 100 人以上の企業に勤務する、
 - ① 経営者・役員の方 ……300 人
※本リリースでは、「経営者」と呼称
 - ② 管理職（部長・課長）の方 ……1,000 人
※本リリースでは、「管理職」と呼称

- ・調査地域： 全国

- ・調査時期： 2018 年 1 月

- ・調査手法： インターネット調査

- ・調査項目：
 - 仕事や働き方に関する生活意識 ……20 項目
 - 仕事や働き方にまつわる用語への意識 ……23 項目
 - 自分の会社・団体の職場環境に対する意識 ……40 項目
 - 自分の会社・団体の職場環境に対する意識（ことわざ・慣用句） ……15 項目
 - 仕事に対する向き合い方・行動などの意識 ……35 項目
 - 仕事をする上での知識・能力に関する意識 ……39 項目
 - 次世代リーダーに必要とされる能力や資質 …… 1 項目計 173 項目

«博報堂生活者アカデミー»

博報堂の企業哲学である「生活者発想」という思考態度を、社会で役立てていくための人材啓発・教育機関です。ひとりの生活者としての思いを主体に、新しい幸福感を描き出す。立場の異なる人々と着想を磨き合う。目先の成果を越えて、その先の世界を見通す。生活者アカデミーは、自らの創造性を高め、第四次産業革命といわれる時代を切り拓く方々が、知の根本に持つべき「発想する底力」を練磨する、新しいジャンルの学び舎です。

<http://www.hakuhodo-seikatsusha-academy.jp/>



HAKUHODO
SEI-KATSU-SHA
ACADEMY